

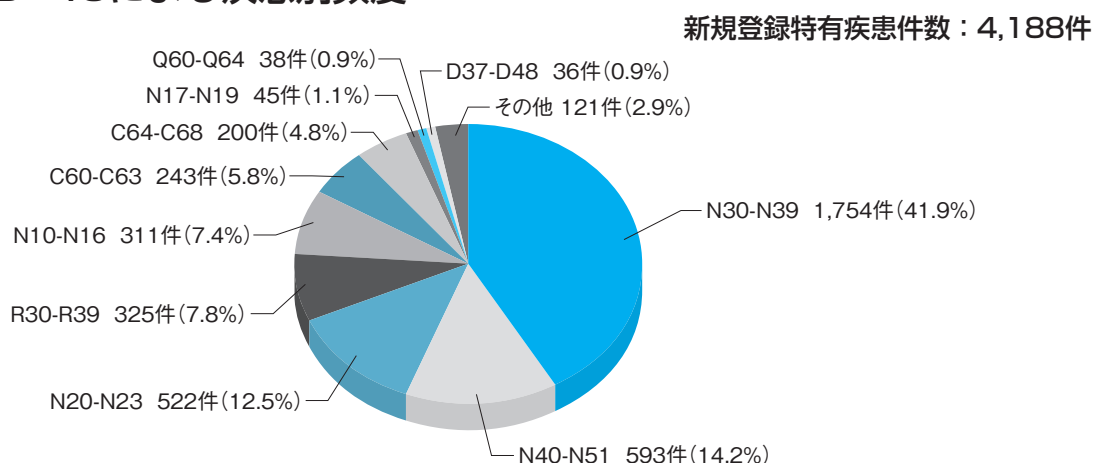
泌尿器科

1. 概要

2015年は、荒木副部長、山本医師の異動、一方で小嶋医長の復帰、河野医師の参加など当科の体制が大きく変わった一年であった。女性骨盤外科領域はやむなく縮小となったが、逆に小嶋、寺島両医長が中心となり、名古屋大学の協力も得て、泌尿器科腹腔鏡下手術の再導入も行われ、何とか当科が担うべき医療サービスの質、量を維持することができたと考えている。とは言え、東三河地区における当院への一極集中は続き、繁忙の程度は増すばかりである。当科の柱である泌尿器悪性腫瘍に対する小切開手術は長井、田中両部長を中心に全国のトップクラスを維持し、また、ロボット支援前立腺全摘術は患者が当初の予想を大きく上回るほどに増加しており、全国的に見ても泌尿器がん治療における当科の地位は確立されているといえる。さらには新たに腎がんに対するロボット支援手術導入の準備も始まり、本年は当科の新たなスタートの一年であったと感じている。

(第一部長 長井 辰哉)

2. ICD-10による疾患別頻度



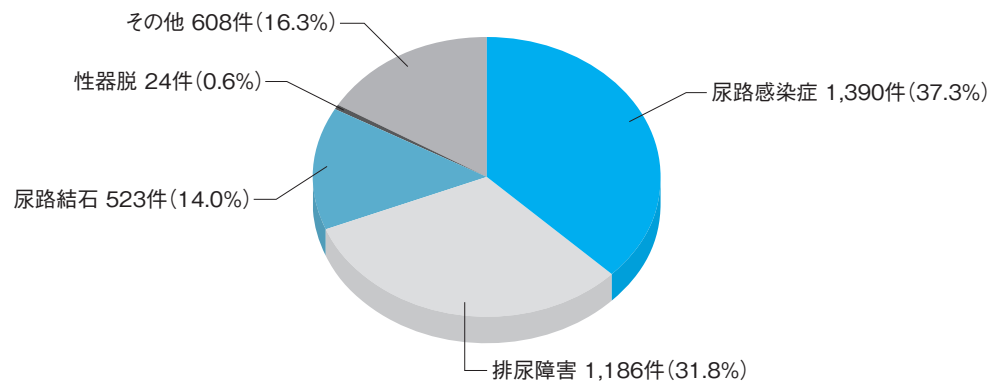
ICD-10 中間分類項目

N30-N39	： 尿路系のその他の疾患
N40-N51	： 男性生殖器の疾患
N20-N23	： 尿路結石症
R30-R39	： 腎尿路系に関する症状及び徴候
N10-N16	： 腎尿細管間質性疾患
C60-C63	： 男性生殖器の悪性新生物
C64-C68	： 腎尿路の悪性新生物
N17-N19	： 腎不全
Q60-Q64	： 腎尿路系の先天奇形
D37-D48	： 性状不詳又は不明の新生物

3. 活動報告

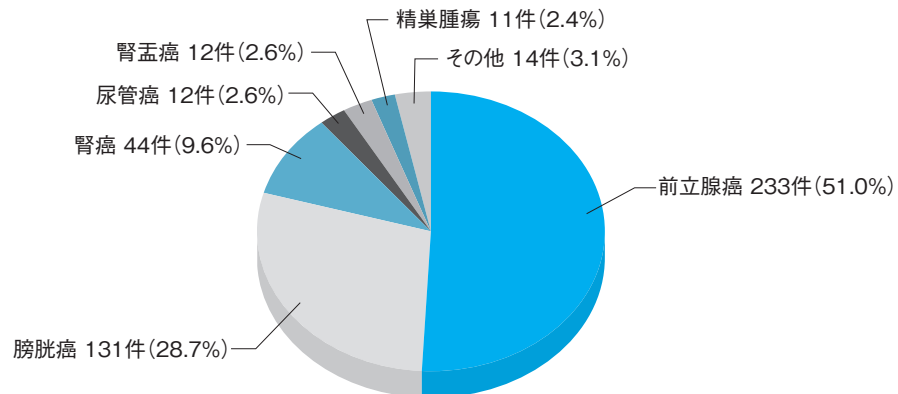
(1) 悪性新生物以外の疾患別頻度

総件数：3,731件



(2) 悪性新生物の疾患別頻度

総件数：457件



学会発表（医局）

<泌尿器科>

No.	演 題 名	区分	氏名	学会・研究会名	発表年月日
1	3Dヘッドマウントディスプレイが拓く日本からの新泌尿器医療（シングルポート手術、3DTURなどへの応用）	筆頭演者	長井 辰哉	第103回日本泌尿器科学会総会	2015/4/18
2	豊橋市民病院における精巣腫瘍の臨床成績	筆頭演者	内藤 祐志	第103回日本泌尿器科学会総会	2015/4/18
3	当院におけるf-TUL導入初期治療成績の検討	筆頭演者	石塚 紀江	第103回日本泌尿器科学会総会	2015/4/18
4	当院におけるエンザルタミドの使用経験	筆頭演者	寺島 康浩	第103回日本泌尿器科学会総会	2015/4/19
5	豊橋市民病院における再発・難治性胚細胞腫瘍に対するTIN/VIP療法の臨床成績	筆頭演者	荒木 英盛	第103回日本泌尿器科学会総会	2015/4/19
6	豊橋市民病院におけるミニマム創腎部分切除術44例の検討（R. E. N. A. Lスコア等の術前評価の有用性の検討）	筆頭演者	山本 晃之	第103回日本泌尿器科学会総会	2015/4/21
7	腎原発神経内分泌腫瘍の1例	筆頭演者	河野 悠	第269回日本泌尿器科学会東海地方会	2015/9/26
8	腎・尿管結石に対するsingle person TUL/ftULの初期治療成績	筆頭演者	小嶋 一平	第29回日本泌尿器内視鏡学会総会	2015/11/21
9	「ミニマム創手術－1000例の経験と未来への取組－」	筆頭演者	長井 辰哉	第8回日本ミニマム創泌尿器内視鏡外科学会学術集会	2015/12/20

座長・司会（医局）

<泌尿器科>

No.	演 題 名	座長名	学会・研究会名	発表年月日
1	前立腺全摘除	長井 辰哉	第8回日本ミニマム創泌尿器内視鏡外科学会学術集会	2015/12/19